【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公開番号】特開2008-174455(P2008-174455A)
【公開日】平成20年7月31日(2008.7.31)
【年通号数】公開・登録公報2008-030
【出願番号】特願2007-6743(P2007-6743)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　25/26　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　25/12　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　51/00　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　43/56　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　25/26
Ａ０１Ｎ　25/12　　１０１
Ａ０１Ｎ　51/00
Ａ０１Ｎ　43/56　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月4日(2009.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
固体の農薬活性化合物がウレタン樹脂で被覆されてなる被覆粉状農薬、結合剤及び固体担体を含有することを特徴とする農薬粒剤。
【請求項２】
被覆粉状農薬の体積中位径が１０～２００μｍであることを特徴とする請求項１記載の農薬粒剤。
【請求項３】
結合剤がα化デンプンであることを特徴とする請求項１又は２記載の農薬粒剤。
【請求項４】
被覆粉状農薬の含有量が０．５～５０重量％であり、結合剤の含有量が０．５～１０重量％であり、固体担体の含有量が４０～９９重量％であることを特徴とする請求項１～３記載の農薬粒剤。
【請求項５】
固体の農薬活性化合物が（Ｅ）－１－（２－クロロ－１，３－チアゾール－５－イルメチル）－３－メチル－２－ニトログアニジンであることを特徴とする請求項１～４記載の農薬粒剤。
【請求項６】
固体の農薬活性化合物がウレタン樹脂で被覆されてなる被覆粉状農薬、結合剤、固体担体及び水からなる混合物を混練し、得られた混練物を押出造粒し、得られた造粒物を乾燥することを特徴とする農薬粒剤の製造法。
【請求項７】
固体の農薬活性化合物が（Ｅ）－１－（２－クロロ－１，３－チアゾール－５－イルメチル）－３－メチル－２－ニトログアニジンであることを特徴とする請求項６記載の農薬粒

剤の製造方法。